



● 地域提案型

平成22年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	中華人民共和国
2. 事業名	大同市における資源循環型環境教育
3. 事業の背景と必要性	大同市では、生活に起因する大量生産、大量消費と大量の廃棄物排出、さらに人口増加による一般生活ごみ排出量増と分別処理が追いつかないため、ごみ焼却発電処理の対応が十分できず、市民生活環境の悪化が大変懸念されている。そのため、大牟田市のRDF（ゴミ固形燃料 Refuse Derived Fuel）発電所とエコサックセンター、子供の世代からの環境保護、資源循環利用の教育及び環境緑化のノウハウと技術の伝授、さらに環境意識及び環境モラル向上のための環境教育の実施にかかる技術協力の強い要請が行われた。
4. プロジェクト目標	大同市における資源再利用による廃棄物処理技術と都市緑化が向上し、市民生活が改善する。
5. 対象地域	大同市
6. 受益者層（人数規模）	直接受益者 大同市の環境関係技術職員 間接受益者 大同市民300万人
7. 活動及び期待される成果	<成果> 大同市の環境教育のレベルが向上される。 ごみ減量の実現とともに市民生活モラルが向上される。 大同市の森維持・再生、都市緑化の人材が育成される。 <活動> 研修員受入れ、及び業務従事者派遣
8. 実施期間	2011年5月～2013年3月
9. 事業費概算額	2,998千円
10. 事業の実施体制	大牟田市職員を中心に大牟田市教育委員会と協働実施するもの
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	大牟田市
2. 対象国との関係、協力実績	大牟田市は1981年に中国大同市と友好都市を締結し、今日まで幅広い分野にわたって友好交流と国際協力を行ってきている。また2008年度から2011年度にわたってJICA草の根技術協力事業「大同市資源循環型社会構築支援モデル事業」を実施。